

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和7年3月26日

木曽地域振興局

提出区分		実績	整理番号	1	課題区分	C		
横断的な課題		木曽らしさを活かした観光振興／地域防災力・減災力の強化						
地域重点政策		木曽らしさを活かした観光振興／地域防災力・減災力の強化						
実施機関		木曽地域振興局			担当課	所属	木曽地域振興局 総務管理・環境課	
事業名		御嶽山の国定公園化に向けた機運醸成及び火山防災対策				電話	環境係:0264-25-2234 県民生活係:0264-25-2213	
						E-mail	環境係: kisocho-kankyo@pref.nagano.lg.jp 県民生活係: kisocho-kenmin@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	・御嶽山の国定公園化に向けた機運醸成・観光振興を推進し、地域住民、関係者が一体となって御嶽山を含む木曽路の魅力を発信することにより、地域振興に繋げる。 ・御嶽山の火山防災力を向上させ御嶽山の安全対策を着実に進めることにより、木曽地域の自然災害に対する地域防災力・減災力を高める。						
	現状と課題	1 御嶽山の国定公園化に向けた機運醸成 (1)現状 国定公園化を実現させるためには、地域住民の熱意が必要不可欠。また、国定公園化の機会を捉えた観光振興を進めることは当地域の重要な課題。 (2)課題 昨年度の事業では一定の成果を収めているが、国定公園化の動きについて関心をよせている地域住民は依然多くないと思われる。また、地域外に向けたPRは十分でない。 2 火山防災対策 (1)現状 ・御嶽山登山者の約8割が県外者であり、装備不良の登山者の約9割が県外者。 ・県外者による県外者を対象にした(御嶽山)安全登山啓発活動の体制づくりが必要。 (2)課題 ・県外者による県外者を対象にした(御嶽山)安全登山啓発活動の体制づくりが必要。 ・災害時には大量の情報が飛び交うため、全ての情報を全ての機関と毎回共有することは不適當。一方でそれら情報の線引きをすることが困難。他地域の優良事例を参考にした整理が必要。						
	内容 (変更後の内容)	1 御嶽山の国定公園化に向けた機運醸成 アルクマを活用したノベルティを作成、配布し、県内外問わず広くPR活動を行う。また、親子に向けた御嶽山のエコツアーを開催し、御嶽山の魅力や環境について学習する機会を設ける。 2 火山防災対策 ・御嶽山火山防災協議会の活動などを通じて培われた名古屋大学とのつながりを活用し、令和6年度は試行的に県外(候補地:名古屋大学、中日ビル)で啓発活動を実施。同大学が中京圏での啓発活動のカウンターパートとなることを目標に、準備段階から同大学を巻き込みながら取り組む。 ・岐阜県の火山防災担当者とともに、中部圏の火山防災協議会事務担当者が集まる研修会等に出席したり、火山防災先進地と言われている地域で開催される防災訓練の視察をしたりすることを通じて、情報共有体制の改善に向けた各種事例等を収集する。 【変更事項】 ・御嶽山スタディツアーについて御嶽山登山を計画したが、小学生対象のため、安全確保対策として経験、知見の豊富な御嶽山火山マイスターを1名講師として追加(2名予定から3名へ変更) ・御嶽山スタディツアー当日、降雨により4名キャンセルが発生。ツアーコースも変更した。予定していたロープウェイも不使用となったため使用料が減額となった。 ・御嶽山噴火10年ということもあり、御嶽山火山防災対策として、火山防災先進地視察ほか名古屋での啓発活動など若手職員に研修させるため旅費を1名分追加(2名予定から3名へ変更)						
	事業期間	令和6年6月 ～ 令和6年12月						
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容		計画(実績)額	備考			
	御嶽山国定公園化PRイベント (主担当:環境係)	需用費(啓発物品費)		199,210	国定公園化の説明パネル・チラシ印刷代89,210円 アルクマデザインコースター作成費110,000円			
		国定公園化の説明パネル配送費		4,880	2,440円(片道)×2=4,880円(木曽⇄名古屋大学)			
		委託料(啓発物品費)		187,000	アルクマ新デザイン委託料			
	御嶽山スタディツアー (主担当:環境係)	講師謝金		112,350	3名分(県統一単価)5,350円×7時間×3名分			
		講師旅費分		10,198	講師(松本在住):交通費1,905円+日当2,200円 講師(木曽在住):日当のみ733円 講師(松本在住):交通費3,160円+日当2,200円			
		御嶽山自然体験バス借上代		86,900	45人乗り、運転手付き(当日参加者17名) 悪天候のためロープウェイ不使用			
		レジャー保険代分		2,625	125円×参加予定者21名(2日前までに申込み)			
	御嶽山火山防災対策 (主担当:県民生活係)	啓発活動に係る旅費		28,440	交通費(3名分)28,440円(木曽福島⇄名古屋大学)			
		火山防災訓練視察に係る旅費		236,230	交通費(3名分)170,830円(木曽福島⇄桜島(鹿児島県)) 宿泊費2泊(3名分)65,400円			
		中部圏合同火山防災研修会に係る旅費		32,700	宿泊費1泊(3名分)32,700円			
		中部圏合同火山防災研修会に係る需用費		0	噴火警戒レベルが引き上げただに伴い研修への参加を見送り			
		啓発物品費		96,228	アンケート調査(ヘルメット持参率等)への回答者へのノベルティ 486円 ×180人×消費税			
	合 計			996,761				
達成状況及び 実績・成果	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	県HP内に新設する御嶽山国定公園化特設サイトへのアクセス数(月平均)		30件	180件	● 達成 ○ 一部達成 ○ 未達成			
	御嶽山登山者(県外者)ヘルメット持参率(令和5年度実績52%)		65%以上	66.6%				
事業成果	【バスツアー】17名の参加があった。事後アンケートでは御嶽山の興味・関心が深まったとの意見が多かった。 【アクセス数】8月から12月の5ヶ月間で904件(月平均180件)の閲覧があった。県内外問わず広くPRできた。 【ヘルメット持参率】アンケート回答者(県外者)は78人、ヘルメット持参者(県外者)は52人。ヘルメット持参率が向上した。							
今後の方向性	引き続き御嶽山国定公園化の広報活動と安全登山の啓発を進めていく。							